

令和4年度 機械知能工学科 卒論研究室配属について

機械知能工学科
学科長 渡部 正夫

【日程】

- 3月3日(木) 正午 先生方による成績報告締切、成績確定
- 3月7日(月) 10:00以降 配属可能学生の公表(学科HP・学科掲示板)
- 3月9日(水) 13:00 第1回研究室配属ガイダンス(オンライン実施)
配属可能学生は全員参加
- 3月10日(木) 12:00 第1回研究室希望調査票提出締切
- 3月14日(月) 10:00以降 第1回配属研究室公表
ELMS Group (R3 機械知能工学科3年生(et00216)) Moodle上に掲示
- 3月14日(月) 10:30 第2回研究室配属ガイダンス(オンライン実施)
配属可能学生のうち第1回配属希望で決まらなかった学生は全員参加
- 3月15日(火) 12:00 第2回研究室希望調査票提出締切
- 3月22日(火) 13:00以降 最終配属結果公表
ELMS Group (R3 機械知能工学科3年生(et00216)) Moodle上に掲示

【調整作業手順】

- ① 7日に配属可能者の学生番号を学科HPに公表(各自の成績点は通知しないので、自己採点でおおよその順位を推定すること)。
- ② 9日の第1回研究室配属ガイダンス時に、第1回研究室希望調査票を第3希望まで記入。10日(水)正午までに提出。
- ③ 14日に第1回配属研究室をELMS Moodleに公表
- ④ 14日の第2回研究室配属ガイダンス後に第2回研究室希望調査票の希望研究室順を全研究室について記入。15日(水)正午までに提出。
- ⑤ 下記のルールに従って、第1回および第2回それぞれ研究室振り分け、決定。
- ⑥ 22日、第2回を含めた配属研究室をELMS Moodleに公表。

【配属ルール】

- ・第1ステップ: 希望優先成績順
 - ・第2ステップ: 完全成績順
- ※詳細は別紙1「卒業研究のための研究室配属方法」参照

- ・研究室定員は、別表1のとおりとする。

【成績算定法】

卒論を除く必修全科目と選択科目の成績上位 5 科目（コース専門第 1、第 2、学科共通の全ての選択科目を含むが安全工学、インターンシップ I と II は対象外）の合計点を用いる。この際、1 単位の科目は×1 倍、2 単位の科目は×2 倍で計算する。成績評価が素点で出されている科目は素点を得点とし、段階評価で出されている科目は別表 2 のとおり得点に換算する。

3 年後期末までの専門科目			科目数		単位数
必修	講義	2 単位	18		36
		1 単位	4		4
	演習・実験	1 単位	15		15
	合計		37		55
選択科目 (安全工学・インターンシップ I・II は除く)		2 単位	16	上位 5 科目	10/32
総計			53		65/87

注) 学生が 3 年後期末までに得ることの出来る最高点 : $100 \times 65 = 6500$

以上

2022 年度に研究室配属を希望する諸君へ

機械知能工学科

卒業研究のための研究室配属方法

2021年度より以下の手順で研究室配属に関する調整を行っています。

1. 研究室配属に関する希望調査および調整を以下のステップで **2 回実施**します。
2. **第 1 ステップ**において、標準的研究室には **2 名**の学生を配属します(標準的で無い研究室への配属数は別紙資料を参照してください)。配属希望の学生数が**第 1 ステップ**における配属上限数を越えた研究室については、「**希望優先成績順(注1)**」のルールで配属調整を実施します。各学生は、第 1 ステップにおいて、**第 3 希望**までの配属希望研究室にエントリーすることができます。**第 1 希望**の研究室にエントリーすることは必須とし、第 2 および第 3 希望の研究室にエントリーすることは必須で無いものとします。
3. **第 1 ステップ**による配属調整が終了後に、第 1 ステップによる配属の結果を掲示によって周知します。**第 1 ステップ**によって配属研究室が決まった学生は、以下の**第 2 ステップ**にエントリーすることはできません。
4. 次に、**第 1 ステップ**によって配属研究室が決まらなかった学生を対象に、以下の**第 2 ステップ**を実施します。**第 2 ステップ**では、各学生は、**第 29 希望**の研究室までエントリーすることを必須とします。第 2 ステップにおいては、「**完全成績順(注2)**」のルールで配属調整を実施します。
5. 第 2 ステップによる配属調整が終了後に、**第 1 ステップ**および**第 2 ステップ**による配属の結果を掲示によって周知します。
6. なお、機械知能工学科からは、各学生の成績席次に関連する一切の資料・情報を提供しません。

(注1) **第 1 ステップ**における「希望優先成績順」とは、例えばある学生 X の**第 1 ステップ**における**第 1 希望**研究室が A 研究室であり、A 研究室を**第 1 希望**とする学生数が**第 1 ステップ**における配属数上限を越えている時、希望者中での学生 X の成績席次が**第 1 ステップ**における配属上限数以内であれば希望どおりに配属され、配属上限数を越えていれば配属されない。学生 X が**第 1 希望**研究室に配属されず、学生 X の**第 2 希望**研究室が B 研究室で、B 研究室への配属を**第 1 希望**とする学生数が**第 1 ステップ**における配属上限数と一致またはそれを超えているときには、成績に関わらず学生 X は B 研究室に配属されず、**第 3 希望**の研究室 C の調整に回る(C 研究室でも B 研究室の場合と同じ手順で配属の可否を判断する)という手順を意味します。

(注2) **第 2 ステップ**における「完全成績順」では、**第 2 ステップ**にエントリーした学生を成績席次順に並べ、成績上位の学生から順に**第 1 希望**研究室に配属します。例えば、学生 X の配属研究室を決める時、**第 1 ステップ**における配属学生数および**第 2 ステップ**において X よりも成績席次が上位で既に配属されている学生数の和が X の**第 1 希望**研究室の配属上限数を越えていなければ、X を**第 1 希望**の研究室に配属し、越えていれば**第 2 希望**以下の研究室について希望研究室順に同様の判断を実施して、配属研究室を決定します。

R4(2022)年度 研究室配属定員

専攻	研究室	教員	定員	第1ステップ 配属数	R3 実績	
機械宇宙工学	宇宙環境システム工学	永田 晴紀	各 4~5人	各2人	5	
		脇田 督司				
	宇宙環境応用工学	藤田 修				5
		橋本 望				
		金野 佑亮				
	大島 伸行	4				
	寺島 洋史					
	計算流体工学 宇宙輸送工学	高橋裕介			4	
		渡部 正夫				
	熱流体物理学	小林 一道			4	
		藤井 宏之				
		中村 孝				
	材料機能工学	高橋 航圭			5	
		藤村 奈央				
佐藤 太裕						
材料力学	加藤 博之	4				
人間機械システムデザイン	バイオメカニカルデザイン	東藤 正浩	4~5人	2人	5	
		山田 悟史				
	精密計測学・ロボティクス	A 清水 裕樹	2~3人	1人	5	
		B 江丸 貴紀				
	知的構造システム	梶原 逸朗	各 4~5人	各2人	5	
		原田 宏幸				
		米沢 平成				
	マイクロエネルギーシステム	戸谷 剛			4	
		山田 雅彦				
		黒田 明慈				
	マイクロバイオメカニクス	大橋 俊朗			4	
変形制御学	佐々木 克彦	5				
	本田 真也					
	武田 量					
エネルギー変換システム	田部 豊	各 4~5人			各2人	4
	榑村 豪					
	村井 祐一					
流れ制御	田坂 裕司	4				
	朴 炫珍					
エンジンシステム	小川 英之	4				
	柴田 元					

専攻	研究室	教員	定員	第1ステップ 配属数	R3 実績
エネルギー環境システム	原子炉工学	(兼任)澤 和弘	各 4~5人	各2人	5
		千葉豪			
	原子カシステム安全工学	澤 和弘			4
		張 承賢			
	原子力環境材料学	小崎 完			4
		渡邊 直子			
榑松 慎一郎					
量子ビーム材料工学	A 大沼 正人	2~3人	1人	2	
	平賀 富士夫				
	B 金子 純一	2人	1人	2	
量子ビーム応用医工学	(兼任)富岡 智	各 4~5人	各2人	4	
	松浦 妙子				
	宮本 直樹				
	高尾 聖心				
	陳 叶				
中性子ビーム応用理工学	加美山 隆			4	
	佐藤 博隆				
プラズマ環境プロセス	佐々木 浩一			4	
	白井 直機				
プラズマ生体応用工学	富岡 智			4	
	山内 有ニ				
	松本 裕				
プラズマ材料工学	A (兼任)佐々木 浩一	2~3人	1人	2	
	富田 健太郎				
	信太 祐二				
	B 及川 俊一	2人	1人	2	
量子エネルギー変換材料	柴山 環樹	4~5人	2人	4	
	中川 祐貴				
触媒表面	朝倉 清高	2~3人	1人	2	
	高草木 達				

換算表

評価	換算点	評価	換算点
秀	95	A+	95
		A	90
優	85	A-	85
		B+	80
良	75	B	75
		B-	70
可	65	C+	65
		C	60
不可	0	D	0
		D-	0
		F	0

編入生の合格：既修得単位認定報告書の評価を使用